

予 算 要 求 資 料

令和 7 年度 3 月補正予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 【新】アグリパーク重点推進モデル実践事業費補助金
(R 8 分)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農政課 政策企画係 電話番号：058-272-1111(内4017)

E-mail：c11411@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 47,500 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	47,500	23,750	0	0	0	0	0	0	23,750
決定額	47,500	23,750	0	0	0	0	0	0	23,750

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

農業従事者の急速な減少が避けられない中、県民に、安全・安心で美味しい食を安定的に供給していただくためには、従来の専業を基本とする大規模経営体中心に農業を担う構造から、それ以外の兼業や副業など多様な形で、共に農業を担う「ハイブリッド型」構造へ転換していくことが重要。

このため、農村地域内の非農家や都市住民など、多様な主体が気軽に農業を体験し、楽しみながらノウハウを学ぶスタートアップの場を設け、その延長線上で新たに農業に参入してもらうことを目指す「アグリパーク構想」の実現を進める。

まずは本県農業が直面する課題に対応した 3 つの重点推進モデルを構築し、アグリパークを広く示していく。

（２）事業内容

アグリパーク構想の具体化のため、特に重点的に推進する３つのテーマについて、意欲ある活動主体による創意工夫あふれる取組を政策オリンピックで募集し、モデル構築を支援する

- ・重点テーマ
 - ①中山間地域に適した農業参入モデル
 - ②直売所を中心とした地域活性化モデル
 - ③農業版働いてもらい方改革モデル
- ・採択数：予算の範囲内
- ・事業実施主体：市町村、農業協同組合、自治会、農事改良組合、農業生産組合（産地）、農業法人、直売所の設置主体 等
- ・補助率：定額
- ・補助限度額：1,500千円／1団体
- ・補助対象経費：生産用資材、出荷用資材、簡易圃場整備（地域未来交付金上、ハード経費に区分されるものは除く） など

（３）県負担・補助率の考え方

県 1／2、国 1／2

（地域未来交付金（地域未来推進型）の活用を想定）

（４）類似事業の有無

なし

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	47,500	生産用資材、出荷用資材、簡易圃場整備等の経費補助
合計	47,500	

決定額の考え方

４ 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

- ・ぎふ農業活性化基本計画（仮称：令和8.3月策定予定）（R8～12年度）
 - Ⅰ 新たな担い手の確保
 - 1 多様な主体の参画促進

（２）国・他県の状況

国は大規模な担い手の育成等の推進を重視しており、「アグリパーク構想」を通じた多様な主体による農業への参画、そうした主体への支援体制などへの予算は不十分であることから、県が独自に推進する必要がある。

（３）後年度の財政負担

アグリパーク構想の実現のために必要な事業であり、次年度以降も継続した支援が必要。

（４）事業主体及びその妥当性

「アグリパーク構想」の実現に向け、スタートアップの場の設置にかかる初期投資を支援するものであり、その後意欲ある設置主体が自走していくことが望まれることから、事業主体は政策オリンピックで採択された意欲ある設置主体とする。

県 単 独 補 助 金 事 業 評 価 調 書

■ 新 規 要 求 事 業

□ 継 続 要 求 事 業

(事業内容)

補助事業名	アグリパーク重点推進モデル実践事業費補助金
補助事業者（団体）	政策オリンピックで選出された団体 （対象：市町村、農業協同組合、自治会、農事改良組合、農業生産組合（産地）、農業法人、直売所の設置団体 等） （理由） 「アグリパーク構想」のスタートアップの場の設置にかかる初期投資を支援するものであり、事業主体は政策オリンピックアグリパーク重点推進モデルで事業提案が採択された意欲ある設置主体とする。
補助事業の概要	（目的）アグリパーク構想の具体化のため、特に重点的に推進する3つのテーマについて、意欲ある活動主体による創意工夫あふれる取組を政策オリンピックで募集し、モデル構築を支援する （内容） ・重点テーマ ①中山間地域に適した農業参入モデル ②直売所を中心とした地域活性化モデル ③農業版働いてもらい方改革モデル
補助率・補助単価等	定額 （内容）補助率：10／10 1,500千円以内 （理由）政策オリンピックで採択された優れた提案に対する補助であることから、補助率10/10とする。
補助効果	アグリパーク構想に基づく多様な主体が農業への参画を実現
終期の設定	終期12年度 （理由）ぎふ農業活性化基本計画の目標年

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

アグリパーク構想による農業参入者を含めた多様な農業を担う主体が、地域を牽引する経営体とともに地域や食料構造を支えるハイブリッド型の農業構造への転換を進める。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R6)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R12)	達成率
アグリパーク構想を通じ農業に参画した主体数	0			10	550	

補助金交付実績 (単位：千円)	R4年度	R5年度	R6年度

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</p>
令和5年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</p>
令和6年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</p>

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)</p> <p>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価)	
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)</p> <p>3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり)</p> <p>2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成)</p> <p>1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50～100%)</p> <p>0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)</p> <p>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p>

(次年度の方針)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>モデル構築の状況を踏まえ、他の課題に対するモデル構築の実施や、多様な主体を支援する仕組みを引き続き支援する。</p>
